

第4章 計画の実現に向けて

1. 計画の推進体制
2. 計画実現のための手順の検討
3. 計画の進行管理

4-1 計画の推進体制

本市における緑に関する施策や取り組みを推進するため、「市民」「事業者」「行政」の3つの主体が連携・協力し、効果的かつ効率的に取り組めます。

将来の「目指す緑の姿」を実現するため、それぞれの主体が果たすべき役割を明確にし、その役割に基づく連携を図りながら、緑の保全や緑化の推進に取り組めます。

それぞれの主体の主な役割は以下のとおりです。

市 民

(参加・応援)

- ・緑に対する理解を深め、一人ひとりが緑の都市づくりの主役であることを意識し、緑の施策や取り組みに積極的かつ主体的に参加し、協力します。
- ・相互に応援し、成果を認め合うことで緑の都市づくりの取り組みを深化させます。

事業者

(実践)

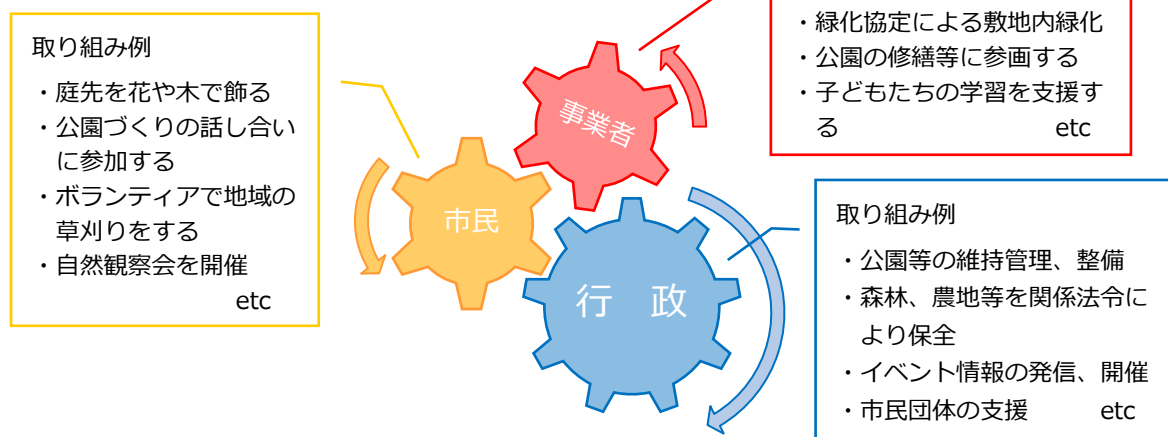
- ・緑化の担い手として、事業所の敷地内での緑化に取り組めます。
- ・地域における緑の創出や保全等の活動を積極的に支援し、時には、地域社会の一員として参画し、緑の施策や取り組みを支えます。

行 政

(事務局)

- ・市民等との連携・協力により、公園・緑地等公共施設の整備や維持管理をはじめとした本計画の各施策を推進します。
- ・緑の都市づくりに関する市民参加のきっかけづくりや活動支援等を行い、基本理念である「自然の恵み みんなで育み 緑とともに未来へ」を尊重しながら、緑の将来像を実現するための環境を整えます。

緑の都市づくりにおける連携イメージ



4-2 計画実現のための手順の検討

計画の実現に向けては、施策の実行段階ごとに大なり小なり目標達成までの道筋を立て、関係者が情報を共有しながら、計画を進めることが必要となります。

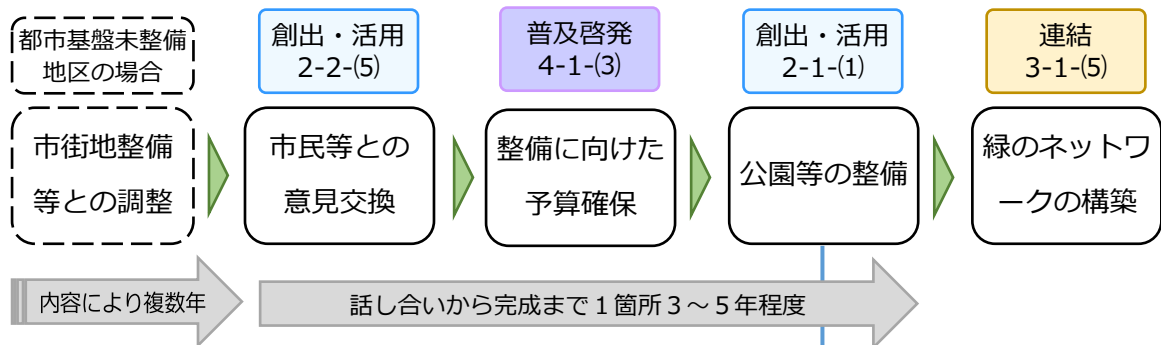
本計画の全体構成では、その道筋を明らかにしていくためのパーツとなる「緑の現状・課題」や「目標設定」、「目標達成のために実行すべきこと（施策）」等を章立てて記載しましたが、ここでは、4つの基本方針ごとに整理した取り組む施策により計画の目標指標（46～48 ページ）を実現していくための手順の一例を示します。実行にあたっては、実現すべき内容や目的に応じて手順を検討し、固定化することなく、その都度、実効性のある手順に改めながら計画実現を目指すことが必要です。

緑の量と質について〈緑被率の確保と公園施設の長寿命化〉

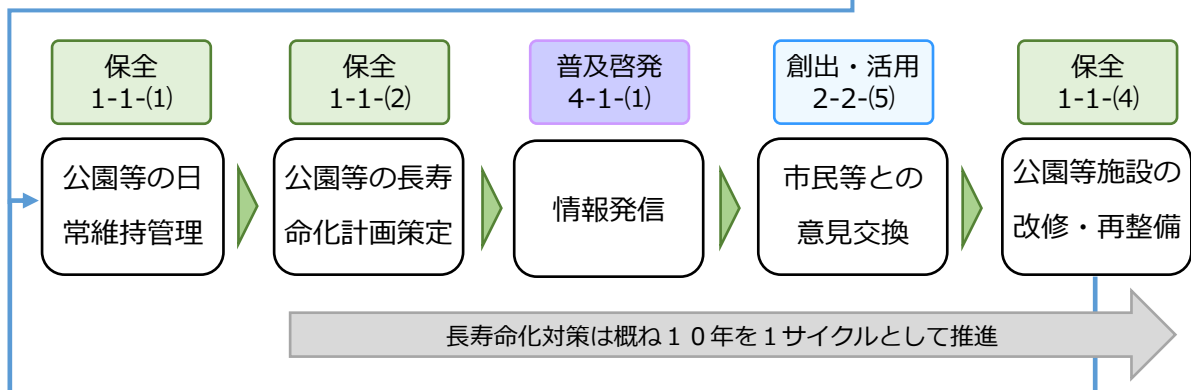
【公園の例】

○公園等の新規整備により、緑被面積を増やします。また、公園施設の長寿命化対策を実施し、魅力的で安全な施設へとリニューアルしていきます。

◆公園の整備から維持管理へ



◆公園の維持管理から改修・再整備へ



※長寿命化計画では、概ね10年間に改修等する施設を位置付けます。

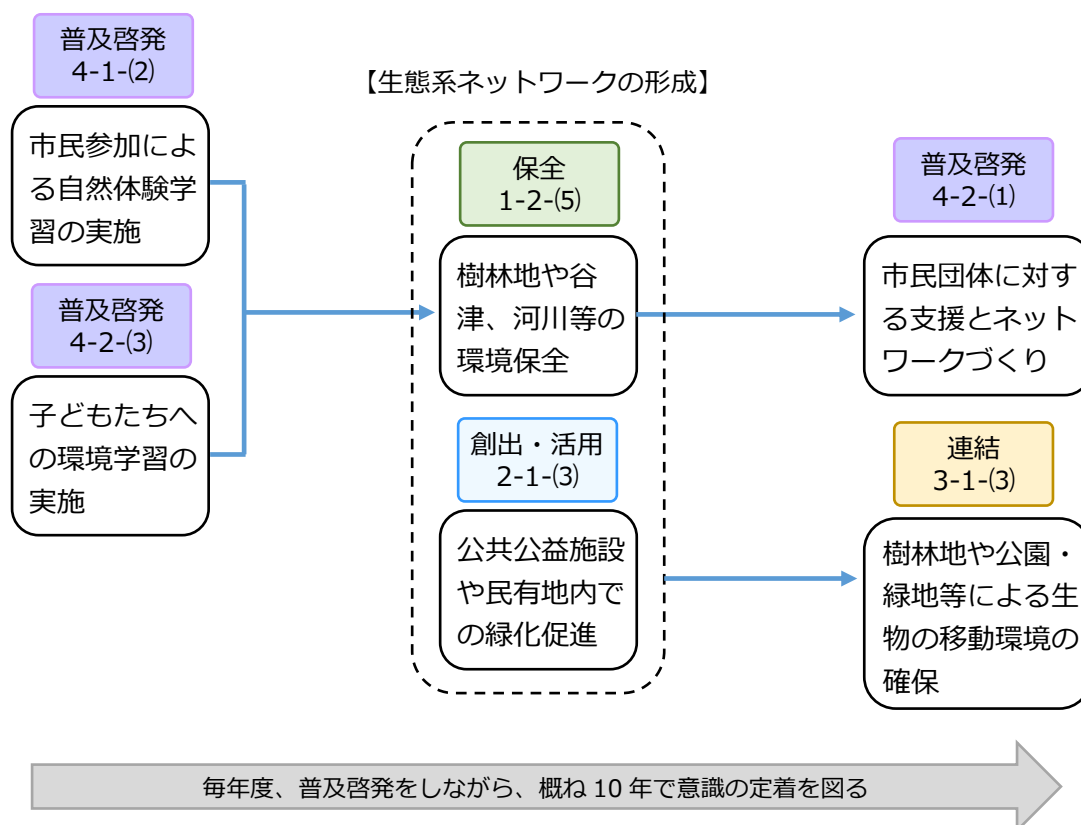
関連する取り組み施策

- 1-1-(1) 快適な公園・緑地の維持管理 (P 51)
- 1-1-(2) 安全・安心な公園施設の維持管理 (P 52)
- 1-1-(4) 魅力を高める公園へのリニューアル (P 53)
- 2-1-(1) 身近な公園の整備 (P 57)
- 2-2-(5) 公園活性化に向けた懇談会等の設置検討 (P 62)
- 3-1-(5) 拠点の充実と眺望ポイントの空間づくり (P 65)
- 4-1-(1) 緑に関する情報発信 (P 66)
- 4-1-(3) みどりのふるさと基金の活用 (P 67)

市民の実感について〈豊かな自然と身近な緑を守る〉

【生物多様性への対応の例】

○市民への緑に関する啓発を行い、本市が有する豊かな自然生態系を育む環境を保全し、身近な緑としての実感を高めていきます。



関連する取り組み施策

- 1-2-(5) 生物多様性を育む環境の保全 (P 56)
- 2-1-(3) 公共公益施設や民有地の緑化促進 (P 58)
- 3-1-(3) 緑の連続性の保持 (P 64)
- 4-1-(2) 市民参加のきっかけづくりと促進 (P 66)
- 4-2-(1) 緑に係わる活動団体等の育成・支援 (P 68)
- 4-2-(3) 子どもたちへの教育・学習の推進 (P 69)

4-3 計画の進行管理

本計画の実現に向けた施策の取り組みを効果的に進めるために、PDCA サイクルの運用による進行管理を行い、各施策の取り組みの確認や進捗状況を把握・評価し、改善へとつなげていきます。

本計画の進行管理としては、計画期間の20年を概ね5年間ごとに区分し、計画の質的向上につながるPDCA サイクルによって実効性を高めるとともに、庁内関係各課との連携及び調整を図り、第4次総合計画※・第2次都市計画マスタープラン※と連動した効率的な進行管理を行います。

また、本市を取り巻く社会情勢の変化、上位・関連計画、市民の意向等を検証した上で大きな乖離が生じた場合には、必要に応じて見直しを検討していきます。

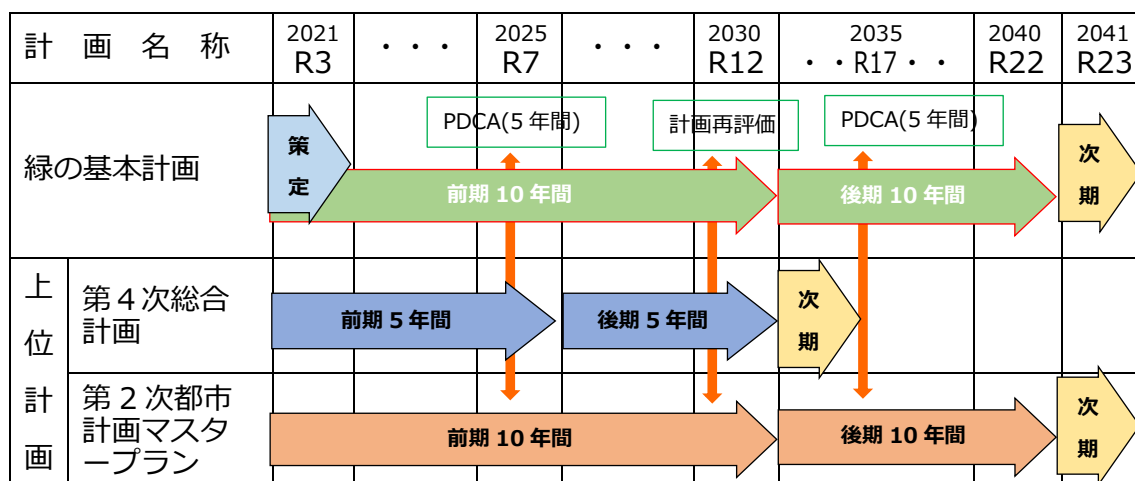
これらの考え方に基づき、進行管理の確認の方法として、本計画で掲げた「基本理念の3つの実感」の達成に向かって、緑がどう移り変わっていくのかを確認していきます。

ここでの進行管理の確認項目は、第2章で定めた「計画の目標指標」を補完するもので、第4次総合計画の目標指標や市民アンケート等も参考にしながら、総合的に評価をしていきます。また、緑の移り変わりを観察する指標として、緑の現況や都市計画基礎調査等を活用していきます。

進行管理の確認項目に関して 資料集P103 参照



上位計画と連動した緑の基本計画の進行管理



市 民

地域の環境整備に参加し、みんなで応援します



ホタルの鑑賞会の様子（家之子地区）



緑を多く配した店舗

事業者

景観に配慮した緑の都市づくりを実践しています



公園を活用した防災訓練の様子（西福俵区）

行 政

市民・事業者合同の活動を事務局として支援します